

# 千住 真理子

## ヴァイオリン・リサイタル

J.S.バッハ G線上のアリア  
ベートーヴェン ヴァイオリン・ソナタ第5番「春」へ長調作品24  
モンティ チャルダッシュ 他

※曲目が変更となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。



©bmb

ピアノ 丸山 滋



©Kiyotaka Saito(SCOPE)

2021

9月12日(日)

開場/14:30 開演/15:00

アイザック小杉文化ホール ラポール

全席指定 一般 3,500円 (当日一般4,000円)

高校生以下 1,000円

※未就学児の入場はご遠慮願います。※座席の間隔を空けて販売いたします。

【ご来場の皆様へのお願い】 安心・安全に公演をお楽しみいただくために

- マスクを着用していない方のご入場はお断りさせていただく場合がございます。
- 入場時に検温を実施いたします。37.5℃以上の場合、入場をお断りさせていただきます。
- 体調がすぐれない方、感染症陽性の方との濃厚接触がある方は、来場をお控えください。
- 事前にチケットにお名前・連絡先をご記入のうえご来場ください。  
(感染者が近くで発見された場合、公的機関より連絡がございます。記載された情報はこの目的以外に利用しません)
- その他、感染防止対策へのご協力をお願いします。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止や災害等のやむを得ぬ事情により、公演中止・内容を変更する場合がございます。その際は会館ホームページでお知らせいたします。

プレイガイド

アイザック小杉文化ホール  
高周波文化ホール(新湊中央文化会館)  
アーツナビ(富山県民会館、富山県教育文化会館  
新川文化ホール、高岡文化ホール)

主催:(公財)射水市文化振興財団  
共催:北日本新聞社、北日本放送(株)  
後援:射水市、射水市教育委員会  
富山エフエム放送(株)  
射水ケーブルネットワーク(株)

チケット一般発売

7/11(日) 9:00~

※発売初日(7/11)に限り、アイザック小杉文化ホール、高周波文化ホール(新湊中央文化会館)の電話受付は11:00~です。



# 千住 真理子

(Violin)

2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。パガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。慶應義塾大学卒業後、指揮者故ジュゼッペ・シノーポリに認められ、87年ロンドン、88年ローマデビュー。国内外での活躍はもちろん、文化大使派遣演奏家としてブラジル、チリ、ウルグアイ等で演奏会を行う。また、チャリティーコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。

1993年文化庁「芸術作品賞」、1994年度村松賞、1995年モービル音楽賞奨励賞各賞受賞。1999年2月、ニューヨーク・カーネギーホールでのウェイル・リサイタルホールにて、ソロ・リサイタルを開き、大成功を収める。2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、話題となる。

2015年はデビュー40周年を迎え、1月にイザイ無伴奏ソナタ全曲「心の叫び」、2月にはバッハ無伴奏ソナタ&パルティータ全曲「平和への祈り」をリリース、両作品ともレコード芸術誌の特選盤に選ばれた。2016年は、300歳の愛器デュランティと共に奏でるアルバム「MARIKO plays MOZART」をリリース。

またブラハ交響楽団、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団と各地で共演。2017年はブラームス



©Kiyotaka Saito(SCOPE)

没後120年記念「ドラマティック・ブラームス」をリリース、また全国でスーク室内オーケストラとツアーを行い、好評を博した。2019年はベートーヴェン生誕250周年に先駆け、ピアニストの横山幸雄と「ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全集Vol.1」をリリース。2020年は近年発見されたイザイの未完のソナタを新たに録音し、その楽曲を加えたイザイ無伴奏ソナタ全曲「心の叫び」<完全版>を再リリース。

春には「ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全集Vol.2」をリリースした。またデビュー45周年を迎え、各地で記念演奏会を行う。コンサート活動以外に

も、講演会やラジオのパーソナリティを務めるなど、多岐に亘り活躍。著書は「聞いて、ヴァイオリンの詩」(時事通信社、文藝春秋社文春文庫)「歌って、ヴァイオリンの詩2」「ヴァイオリニストは音になる」(いずれも時事通信社)「ヴァイオリニスト20の哲学」(ヤマハミュージックメディア)母との共著「母と娘の協奏曲」(時事通信社)「命の往復書簡2011~2013」(文藝春秋社)「千住家、母娘の往復書簡」(文藝春秋社文春文庫)など多数。

千住真理子オフィシャル・ホームページ  
<https://www.marikosenju.com/>



©bmb

# 丸山 滋 (Piano)

東京藝術大学大学院修士課程を修了。修了時にクロイツァー賞を受賞。植田克己氏に師事。

1992年よりドイツ芸術交流会(DAAD)の政府奨学金留学生として、ミュンヘン音楽大学マイスター課程に入学。ピアノをクラウス・シルデ、歌曲演奏法をヘルムート・ドイチュの各氏に師事。1994年、ハンス・ブフィツナー歌曲コンクール(ミュンヘン)において歌曲伴奏特別賞を受賞。同年、ミュンヘン音楽大学を修了。その後若い演奏家たちと様々な国際的経験を積んだ後、1995年に活動の場を日本に移す。

帰国後はソプラノの鮫島有美子、テノールの吉田浩之、ヴァイオリンの千住真理子ら多くの一流演奏家たちから大きな信頼を寄せられるパートナーとして、全国各地でのリサイタルやCD、DVD、放送など様々な機会でも盛んな共演を続けている。1997年、J.S.G.国際歌曲コンクール(東京・大阪)において優秀伴奏者賞を受賞。同年、日本演奏連盟主催「演連コンサート93」として東京文化会館でデビューリサイタルを開催。以降ソロ、室内楽、歌曲とピアノに関わる幅広い分野での活発な活動を行っている。2014年、札幌コンサートホールKitaraでの「丸山滋ピアノリサイタル〜死への追憶・生への讃歌」が札幌市民芸術祭大賞を受賞。

東京藝術大学において室内楽科非常勤講師を務めた後、現在同大学声楽科およびピアノ科非常勤講師。

## 新型コロナウイルス感染症 感染拡大の予防について

### お客様へのお願い

